

2/4ポートDVI VGAデュアルモニタ USB KVMスイッチ (オーディオおよびUSB 2.0ハブ付)

SV231DDVDUA

SV431DDVDUA



*写真はSV431DDVDUA

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

最新の情報は、jp.startech.comでご確認ください

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合（干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます）、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

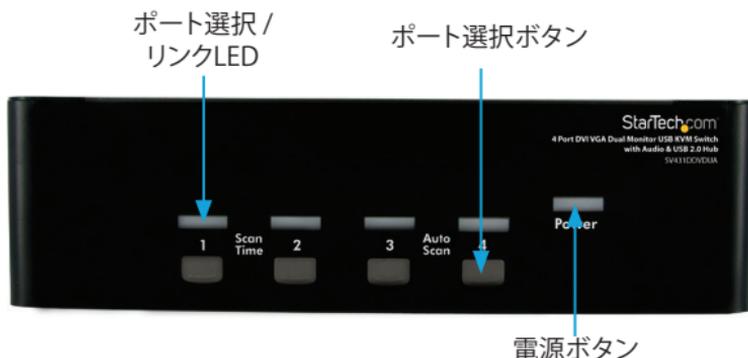
商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイトで使用する場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

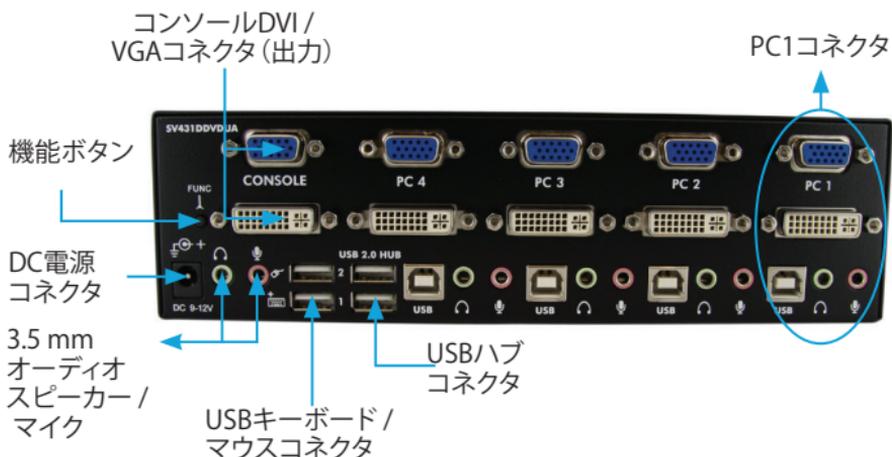
目次

| | |
|-----------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| パッケージ内容 | 1 |
| 動作環境 | 1 |
| インストール手順 | 2 |
| ハードウェアインストール手順 | 2 |
| ドライバインストール手順 | 3 |
| 操作 | 4 |
| フロントパネル | 4 |
| リアパネル (SV431DDVDUAのみ) | 5 |
| ホットキー制御 | 6 |
| 別のホットキーコマンド | 8 |
| 主要ホットキーの変更 | 9 |
| 技術仕様 | 10 |
| 技術サポート | 11 |
| 保証に関する情報 | 11 |

フロントパネル(写真はSV431DDVDUA)



リアパネル(写真はSV431DDVDUA)



はじめに

このSV231DDVDUA (2ポートまたはSV431DDVDUA 4ポート デュアルモニタ KVM スイッチ(DVI+VGA))は、完全完結型のマルチメディア切り替えソリューションで、これを使うことにより、ユーザは1つのUSB対応マウスとキーボードの周辺機器セットを用いて、2台のデュアルディスプレイコンピュータを制御することができます。

この高解像度のビデオインターフェース対応の本デュアルビュー KVM スイッチは、接続するそれぞれのコンピュータに対して、VGAポート (アナログ)、並びにDVI-Iポートを1つずつに対応し、かつオーディオ切り替え機能も搭載しています。

事実上、すべてのアプリケーションで使えるこのDVI/VGA KVMスイッチは、統合型2ポートUSBハブ構造で、USB 2.0で接続された周辺機器を接続されたコンピュータ間で共有することができるため、何台も周辺機器を購入する必要はありません。

あらゆるワークスペースに適した本デュアルモニタKVMスイッチは、コンパクトなデスクトップ KVMデザインで、頑丈なメタル奢侈構造により、耐久性を保証しています。

注意: KVMがDVI-I (アナログモード)とDVI-D (デジタルのみ)の両方をサポートしている間、どちらのソースPCも適切な切り替えのために同じ信号タイプを出力しなければなりません。可能な場合はどこでも、PCとKVM、およびKVMとコンソールのすべての接続でDVI-Dケーブルを使用することを推奨しています。ソースを特定する際にアシストを必要とされる場合は、当社のテクニカルサポートまでお問い合わせください。

StarTech.comでは3年間保証と永久無料技術サポートを提供しています。

パッケージ内容

- 1x 2ポートKVMスイッチ (SV231DDVDUA)
- 1x 4ポートKVMスイッチ (SV431DDVDUA)
- 1x ゴム足セット
- 1x ユニバーサル電源アダプタ
- 1x 取扱説明書

動作環境

- DVIおよびVGA対応コンピュータシステム / ビデオカード
- USB対応コンピュータシステム
- DVIまたはVGA対応ディスプレイデバイス (モニタ、プロジェクタ、テレビなど)
- 標準型104キーUSB有線キーボード
- 標準型3ボタンUSB有線マウス

インストール手順

注意:インストールを開始する前に、本システムに接続されるすべてのデバイスの電源を切ってください。

接続するすべてのデバイスが適切に接地されていることを確認してください。

蛍光灯、エアコン、電気ノイズを発生させる可能性のある機器から離れた場所にケーブルを置きます。

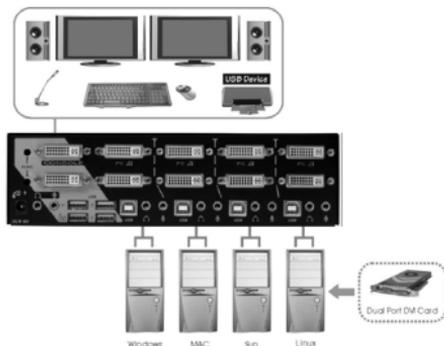
USB KVMスイッチを使うと問題が発生する場合は、Windows等パソコンをお使いの場合は、次のBIOSセットアップを変更する必要があるかもしれません。Macをお使いであれば、その必要はありません。

「HALT ON ERROR (エラーで作業を中断する)」を「ALL BUT KEYBOARD (キーボードを除くすべて)」に設定します。

「PNP AND PCI SETUP (PNPおよびPCIのセットアップ)」で、「PNP OS INSTALLED (PNP OSインストール済み)」を「YES (はい)」に、「USB IRQ」を「ENABLED (有効)」にそれぞれ設定します。

システムにより名前が異なる場合があります。これらの設定で更なるアシスタンスが必要な場合は、システムメーカーまでお問い合わせください。

ハードウェアインストール手順

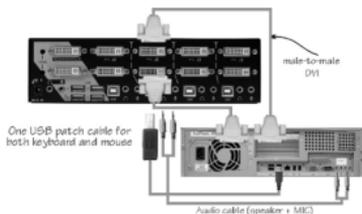


- 1台または2台のモニタをコンソール側のDVIやVGAコネクタに差し込みます。USB対応キーボードとUSB対応マウスをKVMスイッチの専用のUSBキーボードおよびマウスポートに差し込みます。
- オス - オスDVIやVGAビデオケーブルを使って、コンピュータのビデオカードのDVI / VGAコネクタをKVMのいずれかのPCポート (PC1など) に接続します。専用のビデオ、USB、4-イン-1 KVMオーディオケーブルが使用できます (StarTech.com ID番号: USBDVI4N1A6 (DVI) または USBVGA4N1A6 (VGA) など)。
- USB-A-Bタイプケーブルを使って、手順2で使用したPCポートではKVMのUSBポート (Bタイプ、スクエアコネクタ) と、コンピュータのUSBポート (Aタイプ、フラットコネクタ) を接続します。

4. KVMスイッチの各PCポート、またはKVMを使いたい各コンピュータで手順2と3を繰り返します。

オプション: 接続したコンピュータ / デバイス間で供給する他のすべてのUSB対応周辺機器をコンソール側の空いているUSBハブポートに接続します。

5. 壁コンセントに接続されている外付け電源アダプタとKVMスイッチのリアパネルの電源コネクタを接続します。電源LEDが、選択したPCポートのLEDが、その両方が点灯します。
6. まず、コンピュータ / デバイスに電源を入れ、完全に起動するのを待って、キーボードやマウスの動きを確かめます。
7. 正常な動作を確認したら、次のポートに切り替え、そのコンピュータ / デバイスに電源を入れ、確認作業を行います。



ドライバインストール手順

キーボードとマウスは、完全にUSB対応しているすべてのオペレーティングシステムにインストールされているネイティブのUSBキーボード / マウスドライバをしようするため、KVMスイッチのためにドライバをインストールする必要はありません。

動作

フロントパネル

ポート選択 / リンクLED

接続したコンピュータに電源が入るとLEDが緑色に変わります。また、そのパソコンポートが選択されると、対応するLEDが赤になります。

ポート選択ボタン

2ポート：フロントパネルの「選択」ボタンを押すと、KVMスイッチのパソコンポート間で切り替わります。

4ポート：フロントパネルの各プッシュボタンがPCポートと対応しています。ボタンを押すとすぐにそのポートを選択します。

オートスキャン

KVMは決められた時間間隔で、電源の入っているコンピュータを自動的に順次スキャンします(以下の「スキャン時間」を参照してください)。

オートスキャンを起動するには、フロントパネルのプッシュボタン「3」と「4」を同時に押します。オートスキャン中、ポートLEDが点滅します。オートスキャンは電源の入っているコンピュータでのみ実行することができます。オートスキャンモードを終了するには、いずれかのプッシュボタンを押してください。(SV431DDVDUAのみ)

注意: オートスキャンが何らかのキーボード操作を検知すると、操作が停止するまでスキャンを保留します。その後、順番の次にあるコンピュータからスキャンを再開します。オートスキャン間隔(スキャン速度)の長さは調整可能です。下記を参照してください。

スキャン時間

ユーザは、スキャン所要時間を3秒、8秒、15秒、30秒の中から設定できます。

スキャンの時間間隔を変更するには、フロントパネルボタン「1」と「2」を同時に押します。スキャンの時間3秒、8秒、15秒、30秒に対応し、それぞれユニットがビープ音を1回、2回、3回または4回鳴らします。(SV431DDVDUAのみ)

注意: ユニットの電源が切れると、スキャン時間は初期設定の3秒に自動的に変わります。

リアパネル (SV431DDVDUAのみ)

使用しているDVIケーブルの長さや品質のためにビデオ信号の強さ/イコライゼーション設定を調整するには、<ファンクション> ボタンとフロントパネルのプッシュボタンを一緒に使用することができます。

1. <ファンクション> ボタンを3回押すと、「電源」LEDが毎秒1回点滅を開始します。
2. フロントパネルのプッシュボタン「1」を1または2回押し、信号イコライゼーションを調整します。それぞれ、ビープ音が1回 (通常) または2回 (高質) 鳴ります。
または、
フロントパネルのプッシュボタン「3」を1または2回押し、ビデオ信号出力電流を調整します。それぞれ、ビープ音が1回 (通常) または2回 (高質) 鳴ります。
または、
フロントパネルのプッシュボタン「4」を1~4回押し、出力エンファシスを調整します。それぞれ、ビープ音が1回 (プレエンファシス無し)、または2回 (低プレエンファシス)、または3回 (中プレエンファシス)、または4回 (高プレエンファシス) 鳴ります。
3. 設定の調整が完了したら、<ファンクション> ボタンを1回押し、このモードを終了します。

ホットキー制御

ホットキーコマンドはコンピュータを選択したり、コンピュータスキャンを起動させたりするための短いキーボードシーケンスです。ホットキーシーケンスは左側<CTRL>を2回押し(0.2秒以内に連続して押してください)、もう1回か2回ボタン操作を行います。正常にホットキーコマンドが操作される度に高音ビープ音が鳴ります。エラーがある場合は低音で1回鳴ります。キーシーケンスが正しくない場合は、選択したコンピュータに転送されません。

注意:左側<SHIFT>を長押ししながら<NumLock>を2回押し、<SHIFT>を放して、左側<CTRL>を1回押すと、ホットキー機能を有効/無効にできます。

コンピュータを選択するには。

左側<CTRL> + 左側<CTRL> + <1>
(例:ポート1のコンピュータを選択します。)

左側<CTRL> + 左側<CTRL> + <2>
(例:ポート2のコンピュータを選択します。)

注意:キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

オートスキャン

KVMは決められた時間間隔で、電源の入っているコンピュータを自動的に順次スキャンします(以下の「スキャン時間」を参照してください)。

オートスキャンを開始するには。

左側<CTRL> + 左側<CTRL> + <F1>

オートスキャンモードを中断するには、左側<CTRL>を2回押します。

注意:オートスキャンが何らかのキーボード操作を検知すると、操作が停止するまでスキャンを保留します。その後、順番の次にあるコンピュータからスキャンを再開します。オートスキャン間隔(スキャン速度)の長さは調整可能です。下記を参照してください。

手動スキャンを使うことにより、ユーザは手動で電源の入っているコンピュータ間を行き来することができます。

左側<Ctrl> + 左側<Ctrl> + <F2>

前のまたは次のコンピュータを選択するには、<上向き>または<下向き>矢印キーを押します。手動スキャンを中断するには、別のキーを押します。

スキャン時間

ユーザは、スキャン所要時間を3秒、8秒、15秒、30秒の中から設定できます。

注意:初期設定ではスキャン時間は3秒に設定されています。

スキャン速度を調整するには、次のコンピュータに切り替える前にスキャン所要時間を設定します。

左側<Ctrl> + 左側<Ctrl> + <F3>

KVMスイッチは、スキャン所要時間3秒、8秒、15秒、30秒に対応して、それぞれ1~4回ビープ音を鳴らします。

オーディオロック

オーディオロックには次の2つのオプションがあります:オンとオフ。「オン」を設定すると、オーディオ選択に続いてコンピュータの選択を行うようになります。「オフ」を設定すると、オーディオ選択が停止し、続いてコンピュータの選択が停止します。別のコンピュータを操作しながら特定のコンピュータのオーディオ信号を聞きたい場合に便利です。

左側<Ctrl> + 左側<Ctrl> + <F5>

KVMスイッチがオンまたはオフに切り替わるとそれぞれ1回または2回ビープ音を鳴らします。

オーディオが出ているPCポートを現在選択されているポートに変更するには、次のホットキーを押します。

左側<Ctrl> + 左側<Ctrl> + <A>

別のホットキーコマンド

左側<Ctrl>+左側<Ctrl>ホットキーに加え、2つの別のホットキーシーケンスも使えます。

1. 次の操作では、左側<Ctrl>を2回押す代わりに<ScrollLock>を2回押すこともできます。

コンピュータを選択するには。

<ScrollLock> + <ScrollLock> + <1>
(例: ポート1のコンピュータを選択します。)

<ScrollLock> + <ScrollLock> + <2>
(例: ポート2のコンピュータを選択します。)

注意: キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

2. <ScrollLock>のない、あるいはこれをサポートしていないキーボードでは、左側の<CTRL>を押す代わりに、左側<SHIFT>を長押ししながら、<NumLock>を2回押します。

コンピュータを選択するには。

左側<SHIFT>を長押ししながら<NumLock>を2回押します。
それから<SHIFT>を放し、<1>を押します
(例: ポート1でコンピュータを選択します。)

左側<SHIFT>を長押ししながら<NumLock>を2回押します。
それから<SHIFT>を放し、<2>を押します
(例: ポート2でコンピュータを選択します。)

注意: キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

主要ホットキーの変更

初期設定では主要ホットキーシーケンスは、左側の<CTRL>キーを連続して2回押します(つまり、左側の<CTRL>+<CTRL>)これは、コピー & ペーストなどの機能で左側の<CTRL>を使用することにより発生しうる意図しないアクティベーションを防ぐため、右側の<CTRL>キーを使用するように変更することもできます。

主要ホットキーシーケンスを右側<CTRL>に変更するには。

左側<CTRL> + 左側<CTRL> + <ALT>を押したまま右側<CTRL>

左側<CTRL>を押す必要のあったすべてのホットキーコマンドが、右側<CTRL>を押すように変更されます。

主要ホットキーシーケンスを左側<CTRL>に戻すには。

右側<CTRL> + 右側<CTRL> + <ALT>を押したまま左側<CTRL>

技術仕様

| | SV231DDVDUA | SV431DDVDUA |
|-----------------------|---|-------------------------------|
| ポート数 | 2 | 4 |
| コンピュータコネクタ (ポートごと) | 1 x DVI-I (メス) 1 x DE-15 VGA (メス) 1 x USB Bタイプ 2 x 3.5mmミニジャック | |
| コンソールコネクタ | 1 x DVI-I (メス) 1 x DE-15 VGA (メス) 4 x USB Aタイプ 2 x 3.5mmミニジャック | |
| 最大表示解像度 | デジタル:1920x1200@60Hz アナログ:1920x1440@60Hz | |
| DDC2B | はい | |
| オーディオ | はい | |
| OSD | いいえ | |
| カスケード可能 | いいえ | |
| 切り替えモード | フロントパネルのボタン、ホットキー | |
| 電源アダプタ | 9~12VDC、1.5A (同梱) | |
| エンクロージャ材質 | 金属 | |
| 外形寸法 | 100.0mm x 160.0mm x 57.0mm | 130.0mm x 220.0mm x 60.0mm |
| 重量 | 750 g | 1236 g |

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、お買い上げいただいたお客様に安心して製品をお使いいただきたいという願いから業界屈指のソリューションを提供しております。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、<http://jp.startech.com/Support>までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためのオンラインツールやユーザーマニュアル、および、ダウンロード可能な資料をご用意しております。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は<http://jp.startech.com/Downloads>でご確認ください。

保証に関する情報

本製品は3年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念であり、お客様とのお約束でもあります。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えた総合メーカーです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスと一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はおお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はおお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品がすぐに見つけ出せます。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳しい情報については、ホームページjp.startech.comでご確認ください。ウェブサイトをご利用いただけるユニークで便利な製品検索ツールをお使いいただけます。

StarTech.comは、1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供するIT関連のコネクタや技術部品の総合メーカーです。また、StarTech.comは、ISO9001認証を取得しています。